

事業の基礎情報

実施主体	イーグルバス株式会社
事業実施地域	埼玉県小川町・東秩父村
共創の類型	官民共創 ・ 交通事業者間共創
他分野共創の類型	商業・農業 ・ エネルギー・環境 ・ 観光・まちづくり
共創パートナー	埼玉県小川町・埼玉県東秩父村・株式会社エアージャパン
運行形態	乗合バス
運行主体	イーグルバス株式会社

現状・課題

(地域交通の現状・課題に関する分析)

平成26年当時、東秩父村営バスと他バス事業者の撤退路線を引き継いで受けて運行する弊社路線バスの統合再編を実施し、ハブバスターミナル「和紙の里」を設立し、ハイカーが和紙の里を経由することで小川町駅と和紙の里を結ぶ路線バスも利用者の増加を実現した。コロナ禍により、東秩父村路線の利用者は大きく減少し、コロナ禍が収束しても利用者は戻っていない。加えて24年問題による運転士不足と高齢化、運行車両の老朽化により当該路線継続の可否を検討してきたが、危機感を持った東秩父村と小川町の両自治体が観光連携による路線バス維持に同意し、今回の共創実証MaaSプロジェクトを活用し、自治体連携と交通事業者連携によるインバウンド観光客導入による公共交通取組維持を行うものである。

【当該バス路線における利用者の推移】(単位:人)

統合再編前・平成27年:76,049 統合再編後・平成28年度:80,239 平成29年度:85,994 平成30年度:82,644 令和元年度:81,518

コロナ禍・令和2年度:55,081 令和3年度:58,668 令和4年度:59,714 コロナ禍収束後・令和5年度:61,843

地域公共交通計画への位置づけ
(位置づけ予定を含む)

無

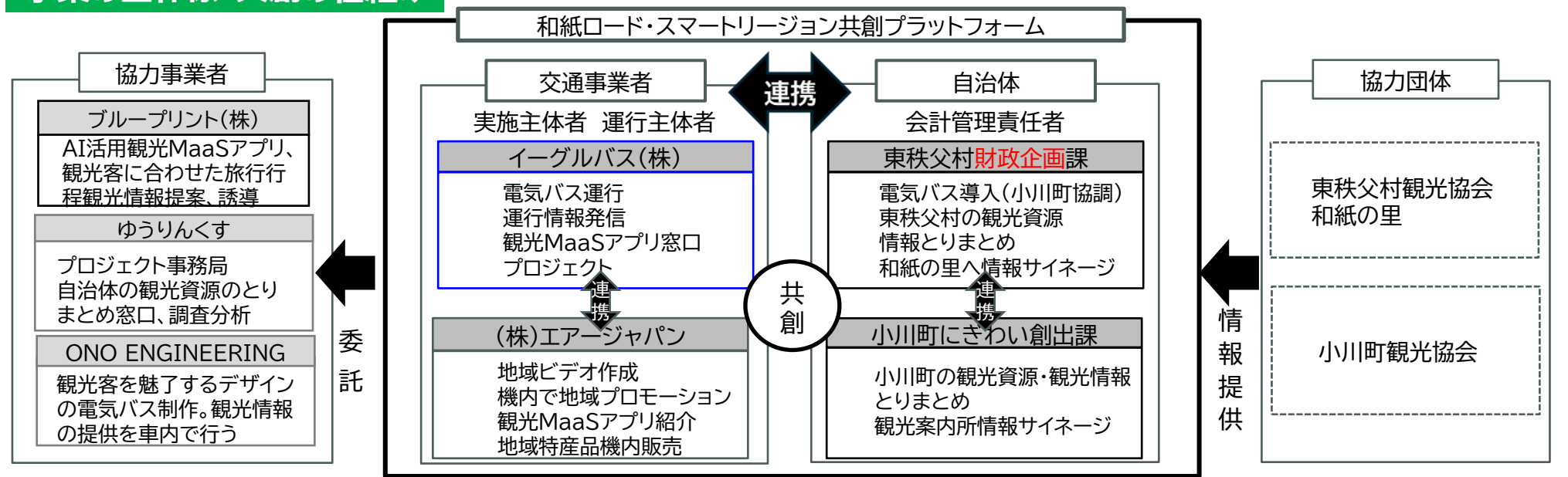
運輸局・運輸支局への事前相談

関東運輸局交通政策部交通企画課

令和5年度共創モデル実証プロジェクトの補助有無

無

事業の全体像・共創の仕組み



取組の概要

(事業の概要)

- ①当該バス路線における持続性向上に求められる観光に伴う利用者獲得に向け、東秩父村の美しい自然と小川町の文化的遺産を結びつけ、両自治体の働きかけにより、両地域に共通する伝統文化である「和紙」に焦点を当て、観光資源や地元の商品情報をAIを通じて紹介するアプリの開発（観光MaaSアプリ）
- ②近年のインバウンド需要を確実に取り込むべく、エアージャパン社と連携し、機内で地域プロモーションビデオ等による情報発信と、観光MaaSウェブアプリ活用によるインバウンド観光客の来訪支援
- ③両自治体のゼロカーボンシティ宣言に沿った電気バスの導入と、車内サイネージによる両自治体の観光情報発信

(地域の関係者との連携・協働)

- ①両自治体の観光協力団体
地域の観光を中心とした産業を支える事業者と密接な関係性を有する地域協力団体との連携により、観光MaaSアプリの内容をより充実させる
- ②電気バスの充電を、地域と連携した太陽光や人工燃料を活用による再生可能エネルギー調達体制を実現

(地域公共交通ネットワークや既存交通との関係性)

当該事業は地域公共交通の幹線たる当該既存バス路線の持続可能性の向上だけでなく、ゼロカーボンシティ宣言を行った両自治体における環境政策におけるシンボリックなバス路線を目指す

- ・両自治体から関係団体への呼びかけを行い、事務局がヒアリング等を行い取りまとめる

- ・地域プロモーションビデオを作成し、航空機内でのプロモーションを次年度から展開

- ・協力事業者による車内サインージも含めたカスタマイズも含む
⇒サインージは観光拠点にも設置する（令和7年2月）
⇒令和6年11月納車を目指す

- ・協力事業者によるAI活用型アプリケーション開発
⇒令和6年12月ローンチを目指す

- ・事務局からの各種情報を協力事業者へ随時提供
- ・事務局とともに当該アプリケーションの経済的持続性について検討を行う

- ・上記取組みによる利用者数を前年と比較することで当該実証事業の効果を測るものとする
- ・導入した電気バスの二酸化炭素排出量等の環境データを両自治体に提供し、今後の脱炭素政策における協働を目指す

和紙ロード・スマートトリージョン共創プラットフォーム

交通事業者 ↔ **連携** ↔ **自治体**

実施主体者 運行主体者

イーグルバス(株)

電気バス運行
運行情報発信
観光MaaSアプリ窓口
プロジェクト

(株)エアー・ジャパン

地域ビデオ作成
機内で地域プロモーション
観光MaaSアプリ紹介
地域特産品機内販売

会計管理責任者

東秩父村企画課

電気バス導入(小川町協調)
東秩父村の観光資源・
情報とりまとめ
和紙の里へ情報サイネージ

小川町賑わい創出課

小川町の観光資源・観光情報
とりまとめ
観光案内所情報サイネージ

協力団体

東秩父村観光協会
和紙の里

小川町観光協会

共創

委託

協力事業者

MaaS観光アプリシステム開発

ブループリント(株)
AI活用観光MaaSアプリ
り開発。観光客に合わ
せた行程提案、誘導

調査・サービス化

ゆうりんくす
プロジェクト事務局
自治体の観光資源と
りまとめ窓口、調査分析

電気バスデザイン

小野エンジニアリング
地域にあったデザイン
の電気バス制作。観光
情報提供を車内で行う

1

[illegible]

取組の詳細

(地域交通にもたらされると想定される効果)

インバウンド観光客による新たな路線バス利用者の需要に伴い、両自治体の地域公共交通計画における目標である「利用者数減少幅の抑制」や、「公共交通利用者数の現状維持」に効果が見込まれる。(路線バス利用人数 R3年度:58,668人 R4年度:59,714人 R5年度:61,843人)

電気バスの導入による二酸化炭素等の排出量を大幅な低減、今後の両自治体との環境政策におけるゼロカーボンシティの実現に向けたシンボリックな路線としてエリア内外への高いアピール効果を生み出すものとする。(路線全体の二酸化炭素排出量 R4年度:134.4t)

(地域全体に及ぶと想定される効果)

行政区で分かれていた自治体が、両者の観光資源を統合することによりリージョン体制が可能となり、観光客による経済効果が見込まれる

観光MaaSアプリの導入による当該地域へのインバウンド観光客の往来増加、SNSによる世界への発信

地域特産の機内販売を行うエアー・ジャパン社との連携による、地元業者のビジネスチャンス拡大

※特に以下の効果が想定される場合は、その項目に○をつけ(複数選択可)、当該内容について上記に具体的に記載してください。

	新たな移動手段の創出や各種送迎への地域住民の混乗などによる、地域住民の利便性向上		貨客混載や各種送迎の公共交通への集約など、交通事業者や地域の関係者の生産性向上
○	乗降データを取得する等、データを活用して、事業検証ができる環境整備		通院者や商業施設の利用者に関する情報など、他分野の移動需要に関するデータの利活用

(補助事業実施後の予定)

当該実証事業の次年度以降の課題と、解決策を以下に示す。

- ①観光MaaSアプリの継続的運用 ⇒ 地域事業者からの広告収入により運用資金を確保
- ②観光資源等のブラッシュアップ ⇒ 地域を客観的に把握し地域活性化に向けた活動を行う団体との継続的連携
ゼロカーボンシティ宣言を行った両自治体における環境政策との連携による他の観光地との差別化
- ③運転手の確保 ⇒ 電気バスの優位性(運転手疲労軽減による雇用延長・新規採用の目玉、環境負荷の小ささ)を積極的にアピール
- ④地産地消エネルギー運用 ⇒ 再生可能エネルギーの活用及び無公害運行による両自治体の自然環境維持、地域住民や国内外観光客
これらを通じて観光客の確保をフックとしたバス路線の持続可能性向上に努めるものとする。

資金面	・利用者数の増加だけでなく、各種イベントとの連携により新たなキャッシュポイントを構築することを目指す。 ・観光MaaSアプリの広告収入だけでなく、当該アプリケーションの商品化を目指すことで事業の継続性を高める。
人材面(運転手の確保)	・導入される電気バスの運転手における疲労軽減などの情報を積極的に発信することで運転手の確保を目指す。 ・環境意識の高い世代はもちろん、当該バス路線の運転手は国際交流できる仕事としても多角的にアピールを行う。